

1. 科目名（単位数）	ソーシャルワークの理論と方法（専門）（4 単位）	3. 科目番号	SCMP3159
2. 授業担当教員	山口 大輔		SPMP3158
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の単位を修得した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	ソーシャルワークの構成要素を踏まえ、精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開過程、そこで必要となる基本的視点、アウトリーチや面接技術、実践アプローチ、またケアマネジメントについて学習する。加えて精神障害者家族に関する理解、多職種連携と多機関連携を通じた支援の実際、またチームアプローチにおける精神保健福祉士の役割について学ぶ。ソーシャルアドミニストレーション、コミュニティワーク、ソーシャルアクションといったソーシャルワーク実践についてその意義と方法を学習するとともに教育・産業・司法といった関連分野における実践展開について理解を深める。		
8. 学習目標	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。 精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する理念と方法について理解する。 個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。 精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	レポート課題 精神保健福祉士の活動としてミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性について事例を用いて、説明をする（詳細は授業時に説明） 期末テストを実施する		
10. 教科書・参考書・教材	一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新 精神保健福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [精神専門]』2021 年 中央法規 授業内でプリント・授業資料を配付する。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1. 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開課程、面接技術、実践アプローチ、ケアマネジメント、他職種連携とチームアプローチ、コミュニティワークなどを理解しているか。 2. レポート課題にそった内容が正しい文法表記、引用文献表記、適切な用語と漢字で論理的に述べられ、提出期限を厳守しているか。コピーや盗用は認めない。 3. 授業を受ける基本的マナー（出席状況、準備物、提出物など）および授業に積極的に参加しているか。 ○評定の方法 1. 期末試験 : 総合点の 40％ 2. レポート : 総合点の 40％ 3. 授業態度 : 総合点の 20％		
12. 受講生へのメッセージ	精神保健福祉の根幹となる科目です。主体的に授業に参加して下さい。本科目は、専門知識を基盤とした実践的な科目です。そのため、授業内では、事例検討などの演習も実施します。		
13. オフィスアワー	授業内（初回授業）で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、本科目で学ぶことの説明 テキスト第 1 章 第 1 節 ソーシャルワークの原則、理念、視点、知識、技術とは何か理解する	事前学習	今までに学習した「ソーシャルワーク」に関する自身の考えを言葉にしておく。
		事後学習	授業で学習した内容を振り返り、ソーシャルワークについて要点をまとめる。
第 2 回	テキスト第 1 章 第 1 節 ソーシャルワークの原則・知・実践のそれぞれの概念を理解する。	事前学習	テキスト pp. 2～11 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの原則・知・実践のそれぞれを整理して、まとめる。
第 3 回	テキスト第 1 章 第 2 節 ソーシャルワークの展開過程を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 12～20 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの展開過程をまとめる。
第 4 回	テキスト第 1 章 第 3 節 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの基本視点を理解する	事前学習	テキスト pp. 21～28 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	人と環境の相互作用について整理する。
第 5 回	テキスト第 1 章 第 4 節 ミクロ・メゾ・マクロレベルの実践とは何か理解し、実践に結び付けて考える。	事前学習	テキスト pp. 29～35 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	ミクロ・メゾ・マクロレベルの実践を整理する。
第 6 回	テキスト第 2 章 第 1～2 節 援助関係の形成とインテークを理解する	事前学習	テキスト pp. 38～52 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	援助関係の形成技法についてまとめる。
第 7 回	テキスト第 2 章 第 3 節 アセスメントにおいて必要な視点を理解し、複数のツールを知る。	事前学習	テキスト pp. 53～60 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	アセスメントの意義と目的を整理する。
第 8 回	テキスト第 2 章 第 4 節 ソーシャルワーカーとして活用する面接技術を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 62～71 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	SW の面接技術について整理する。
第 9 回	テキスト第 2 章 第 5 節 グループワークの概念と意義を理解し、精神保健福祉分野におけるグループワーク	事前学習	テキスト pp. 72～80 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	グループワークの意義・方法・展開について

	を知る。		まとめる。
第 1 0 回	テキスト第 2 章 第 6 節 アウトリーチとは何か理解し、精神保健福祉分野で行われているアウトリーチの実際を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 81～90 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	アウトリーチの必要性和ソーシャルーカーの役割について、整理する。
第 1 1 回	テキスト第 2 章 第 7 節 事例を用いて人・環境へアプローチした支援の展開を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 91～100 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	エコロジカルアプローチの視点と重要性についてまとめる。
第 1 2 回	テキスト第 2 章 第 8 節 事例を用いてケアマネジメントの支援の展開を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 101～108 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	ケアマネジメントの支援の展開について整理する。
第 1 3 回	テキスト第 3 章 第 1 節 日本における精神障害者家族の課題を理解する	事前学習	テキスト pp. 110～120 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	日本における精神障害者家族の課題について整理する。
第 1 4 回	テキスト第 3 章 第 2 節～第 3 節 精神障害者家族に関する研究の変遷を理解し、家族支援の方法を学ぶ。	事前学習	テキスト pp. 121～140 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	家族支援の方法について整理する。
第 1 5 回	テキスト第 4 章 第 1 節 コミュニティワークとは何かを理解し、精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義を考える	事前学習	テキスト pp. 144～151 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	コミュニティワークの意義と必要性について整理する。
第 1 6 回	テキスト第 4 章 第 2 節 地域における精神保健福祉の向上と予防的アプローチを理解する	事前学習	テキスト pp. 153～160 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	「地域における精神保健福祉の向上」について整理する。
第 1 7 回	テキスト第 5 章 第 1 節 ソーシャルアクションとは何か、歴史をふまえ、その機能と展開過程を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 162～169 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルアクションの必要性和展開過程について整理する。
第 1 8 回	テキスト第 5 章 第 2 節 地域をベースにした支援の意義と地域包括ケアシステムを理解する	事前学習	テキスト pp. 170～179 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	地域包括ケアシステムの重要性について整理する。
第 1 9 回	テキスト第 5 章 第 3 節 精神保健福祉士の視点を踏まえた政策提言・政策展開を理解する。	事前学習	テキスト pp. 180～187 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	精神保健福祉士におけるソーシャルアクションについて、整理する。
第 2 0 回	テキスト第 5 章 第 4 節 地域移行・地域定着支援を学び、地域移行・地域定着に関わる事例分析を行う	事前学習	テキスト pp. 188～197 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	精神障害者の地域移行・地域定着に関わる展開について整理する。
第 2 1 回	テキスト第 6 章 第 1 節～2 節 連携とは何か理解したうえで、多職種連携・多機関連携について学ぶ	事前学習	テキスト pp. 200～217 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	精神保健医療福祉領域における連携の必要性について整理する。
第 2 2 回	テキスト第 6 章 第 3～4 節 チームについて理解し、専門職としてチームに携わるために必要な要素を学ぶ	事前学習	テキスト pp. 219～234 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	チームの形態と特徴について整理する。
第 2 3 回	テキスト第 6 章 第 5～6 節 連携における精神保健福祉士の役割を理解する、多職種・多機関連携に関する事例分析	事前学習	テキスト pp. 236～252 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	チームアプローチの重要性について、整理する。
第 2 4 回	テキスト第 7 章 第 1 節 精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションを理解する	事前学習	テキスト pp. 254～262 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの意義について整理する。
第 2 5 回	テキスト第 7 章 第 2～3 節 精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの展開方法と人材育成を理解する	事前学習	テキスト pp. 263～284 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルアドミニストレーションの展開方法について整理する。
第 2 6 回	テキスト第 8 章 第 1 節 学校・教育分野におけるソーシャルワークを学ぶ	事前学習	テキスト pp. 288～293 を読み、要点をまとめる。
		事後学習	スクールソーシャルワーカーの必要性について、整理する。

第 2 7 回	テキスト第8章 第2節 産業分野におけるソーシャルワークを学ぶ	事前学習	テキスト p294～301 を読み、要点をまとめる。	
		事後学習	産業分野における精神保健福祉士の特徴について整理する。	
第 2 8 回	テキスト第8章 第3節 司法分野におけるソーシャルワークを学ぶ	事前学習	テキスト pp. 302～309 を読み、要点をまとめる。	
		事後学習	司法分野における精神保健福祉士の実践について整理する。	
第 2 9 回	テキスト第8章 第4節 災害分野におけるソーシャルワークを学ぶ	事前学習	テキスト pp. 310～315 を読み、要点をまとめる。	
		事後学習	精神保健福祉士が行う災害支援活動について整理する。	
第 3 0 回	まとめ 授業を通して学んだことを振り返る	事前学習	学んだことと疑問点を書き込んだノートを見返し、取り上げたいテーマ（疑問）を挙げる。	
		事後学習	期末テストに向けた学習を行う	
		期末試験		